

# 信濃教育

第一六七一号

令和八年二月

## 目次

口 絵 今、教師や子どもは——長野上水内 共和小学校

巻頭言 先人の志に学ぶ

### 巻頭提言

授業改革の肝

戸ヶ崎 勤

1

### 特集「我が校の授業研究」

#### 〈実践報告〉

・聴き合う

～ペア・グループの学びを支える教師のあり方～

小椋 裕太

12

・西山PBS（ポジティブな行動支援）

～取り組みから見えてきた新たな研究のかたち～

有泉 晋也

20

・子どもの言葉で問いを創る授業の実践

池田 敦夫

32

・生徒の姿が変わる学校づくり

―「可視化」と「実践」を循環させる依田窪南部中学校の挑戦―

中村 満

39

・坂の上小改革

子どもも大人も 一人で学ぶ・みんなと学ぶ

荻原 智子

48

・子どもたちが自分の考えを伝えたいくなる授業をめざして

山田 竜平

54

・「自ら動き出す子ども」の姿を目指して

山崎 亜岐

60

・学び合いとICTで拓く埴生中の授業づくり

遠山 恒輝

67

・「つながる研究」をめざして

吉沢 信也

74

・子どもが主体の学校づくり

浦 嘉宏

82

・学力のとらえと 子どもへつける力

松本 景光

91

・子どもから学ぶ教師が子どもたちの学びを支える

～児童理解を通して～

平山 司

97

・「やりたい」・「必要感」を軸にした学校変革

卯之原利幸

104

・子どもの『今』を感じとる教師とは

―リスペクトするワクワク感にあふれた学校づくりに向けて―

松代中学校研究部

111

◇インフォメーション…表紙3

◇本会の動き

…117  
…118

◇編集後記

◇表紙絵 …三澤 久夫  
◇目次カット…鈴木しのぶ  
◇カット …長谷川松実

